

第5次



第4次計画から第5次計画(R6～R10)に改訂しました

鹿児島県子ども読書活動推進計画

不読率の低減

- 乳幼児期から読書に親しませる。
- 発達段階に応じた読書活動を行う。
- 全校で一斉に読書に取り組む時間を設定する。
- 学習活動で学校図書館を積極的に利活用する。
- 友人同士で本を薦め合う活動や電子書籍を利用した読書活動に取り組む。



子どもの視点に立った読書活動の推進

- 読書活動に関する児童生徒の意見を聞く機会を積極的に作る。
- 多様な子どもの意見を、サービスの改善や資料収集に反映させる。
- 児童生徒が主体的に関わるような学校図書館の運営やイベント等を行う。
- 中学生、高校生の要望を活かし、年代に応じた図書の実充を図る。



「1日20分読書」運動

～本がひらく わたしの未来～

毎日の読書活動が、子どもの未来をひらきます！

読書環境の整備により、すべての子どもたちに読書の機会を！



多様な子どもたちの読書機会の確保

- 多様な資料の整備・充実を図る。
 - 電子書籍
 - デイジー図書
 - 新聞
 - 外国語の図書
 - 多様な興味、関心に応える資料
- 幅広く、読書のきっかけをつくる取組の充実を図る。
- 多様な背景を持つ児童生徒の居場所として、読書や学習の場を提供する。



デジタル社会に対応した読書環境の整備

- 図書館のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。
 - 図書情報のデータベース化
 - オンライン上での情報の共有化
- GIGAスクール構想の進展に対応した資料のデジタル化やコンテンツの整備・充実を図る。



詳しくは、こちらをご覧ください。



鹿児島県教育委員会